

わが家のアイドル

吉佐美にお住いの
小川 悟さん・夏美さんの

まさる
長男 **勝** くん (6歳3か月)

ちづる
長女 **千鶴** ちゃん (4歳8か月)

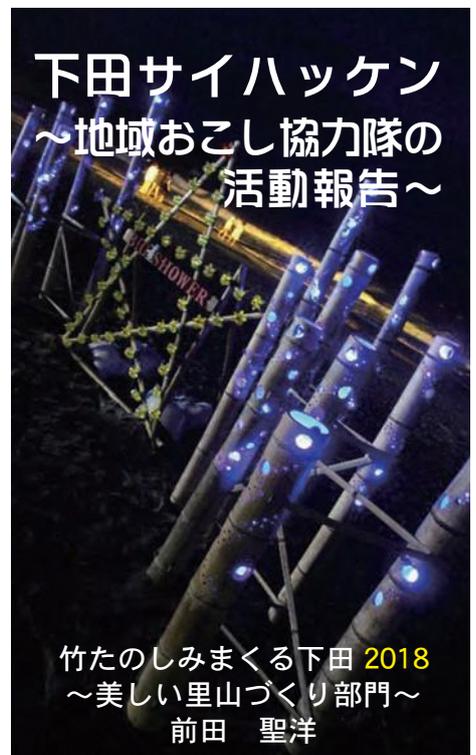
とおる
次男 **徹** くん (1歳9か月)

お家で毎日おまつりごっこ！
わんぱく元気な3きょうだい♪



みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！

下田サイハッケン ～地域おこし協力隊の 活動報告～



竹たのしみまくる下田 2018
～美しい里山づくり部門～
前田 聖洋

下田に移り住み、早いもので2年3か月が経ち、私も下田の住人になることができ始めているかな、と感じている今日この頃です。

今回は、市内の地域おこし協力隊が共同で実施し、昨年好評いただいたイベント「竹たのしみまくる下田」をご紹介したいと思います。

このイベントは、市の課題にもなっている放任竹林問題と、夏期以外の観光動員を増加させるための改善策として考えられました。竹をイベントオブジェ化して有効活用し、閑散期の新たなイベントとして観光動員を図り、結果的に「まちづくり」へと繋げていくことを目的として実施されています。

治山事業等の場では、竹材は山に捨て置かれるのが現状です。竹材は、昨年に引き続き関係者の方から提供いただき、多くが主ですが、地元住民や都市部から来た方にも調達の協力をいただきました。

その作業を行う中で、「あまりきれいな里山環境とは言えないんだね」という感想もちらうこともありました。竹材は残しておいても土に返りますが、人によっては里山の景観を害するものとみなすこともあるようです。

そのような話も踏まえると、使用しない竹材を用いることで里山環境が美しくなり、観光客の方にも楽しんでもらえるこのイベントは、非常に素晴らしいものだと思います。

オブジェ製作の現場でも、多くの方に協力をいただいています。現場では、市の森林の問題や商店街問題、市全体の今後のことなど様々なことが語られています。そのような場にいると「まちづくり」とはこの様な場所から始まっていくんだな、というのを改めて実感するところです。

下田郵便局斜め向かいの建物で作業をしていますので、皆さまもお時間がありましたら、ぜひご参加ください。

今年は、ビッグシャワーの際にLEDランプを灯した竹オブジェを置くなど、私たちも一年間技術を磨いてきました。今年もどうぞ竹明かりを楽しみながら、まち歩きをしていただければと思います。

竹たのしみまくる下田2018

～下田 宵まち歩き～

日時 10月6日(土)、7日(日)、12日(金)、13日(土)、19日(金)、20日(土)、26日(金)、27日(土) 各日夕暮点灯く21時まで

場所

ペリーロードをはじめ、週替わりで町内各所に点灯します。

問合せ先

産業振興課産業振興係

☎ 23914

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道口ゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

